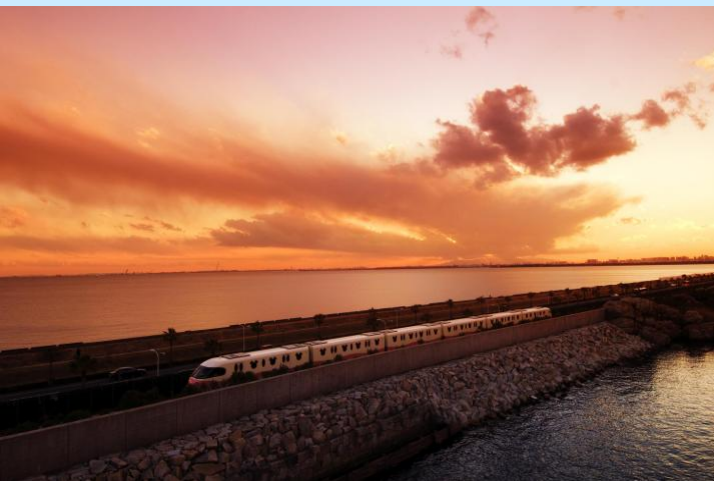




セーフティレポート 2013



株式会社舞浜リゾートライン

セーフティレポート2013 (2012年4月～2013年3月までの取組み)

目次

1. ディズニーリゾートラインをご利用の皆さまへ
2. 安全方針と安全目標
3. 「輸送の安全」を推進する社内の体制
4. 「輸送の安全」への取組み
5. 鉄道運転事故の発生状況
6. ゲストの皆さまへ

1. ディズニーリゾートラインをご利用の皆さまへ

日頃はディズニーリゾートラインをご利用いただきまして、誠にありがとうございます。

当社では東京ディズニーリゾートをつなぐ重要な事業として「安心・快適・楽しさの追求」を目標に掲げ、全キャストが一丸となって「笑顔を運び、夢をつなぐ」という企業使命の実現に向けて様々な取組みを行っております。

特に自然災害などによりモノレール車両が駅間停止した場合、高架線からゲストの皆さまの避難誘導が必要となりますので、そのような異常時における対応については、年2回の総合訓練を定期的に行い、迅速で正確な情報伝達、安全の確保を前提としたゲスト救出の役割確認、運行復旧手順の再確認など対応力の向上に努めております。

また、輸送安全マネジメント活動として、組織の安全文化を支えるいくつかの視点を軸にして、見直し改善計画の策定、現場からの声を経営に反映すべく「ヒヤリハット」情報の共有を徹底し、経営と現場が一体となった計画・実行・評価・改善（PDCAサイクル）の基盤強化を図り、安全への当事者意識と主体的な行動力を高めていくことを継続的に推進しております。

2012年度も、ゲストの皆さまの安全対策の検討を継続し、さらなる対応事項を盛り込んだ異常時訓練計画の立案など、これまで以上に災害に強く、安全に配慮した列車運行、駅務運営を確立していくための体制作りおよび実践強化を図ってまいりました。

ディズニーリゾートラインは、安全を最優先した東京ディズニーリゾートの経営哲学を踏襲して、さらなる「安心・快適・楽しさ」を提供し、より一層皆さまに愛されるディズニーリゾートラインとなれるよう全社一丸となって取り組んでまいりますので、今後ともよろしくお願い申し上げます。

この「セーフティレポート2013」は、鉄道事業法第19条の4にもとづく安全報告書として、2012年度における当社の安全に対する取組みなどについてご紹介し、広くご理解いただくために公表いたしました。

ぜひお読みいただき、皆さまの忌憚のないご意見、ご感想をお聞かせくださいますようお願い申し上げます。

代表取締役社長 天野 明朗

2. 安全方針と安全目標

2.1 安全基本方針

「輸送の安全」に関する基本的な考え方は、「安全管理規程」第2条第2項に安全に関する基本的な方針として定めた7項目について、より簡潔で誰にでもわかりやすい内容とするため、併せて3項目を安全基本方針として決めました。この安全基本方針は全職場に掲出され、安全を最優先する安全意識の徹底を図るとともにゲストの皆さまへ安全・快適なサービスが提供できるよう、東京ディズニーリゾート全体とも連携を図っています。

【安全基本方針】

1. 法令・規則を守り、安全を最優先にゲストをおもてなしします。
2. 安全に対し、常に当事者意識を持って主体的に行動します。
3. 情報を迅速、正確に共有し、一致協力して安全への対応能力を高めます。

2.2 安全目標

社長以下全キャストが一丸となり、安全管理体制の強化を行うとともに、
「事故ゼロ」

という目標を掲げ、様々な安全性向上施策に取り組んでいます。その結果、2012年度も「鉄道運転事故・重大インシデントの発生はありませんでした。今後もソフト・ハードの両面から安全・安定輸送にまい進します。

2.3 安全重点施策

安全目標である「事故ゼロ」を達成するために、次のような取組みを実施しています。

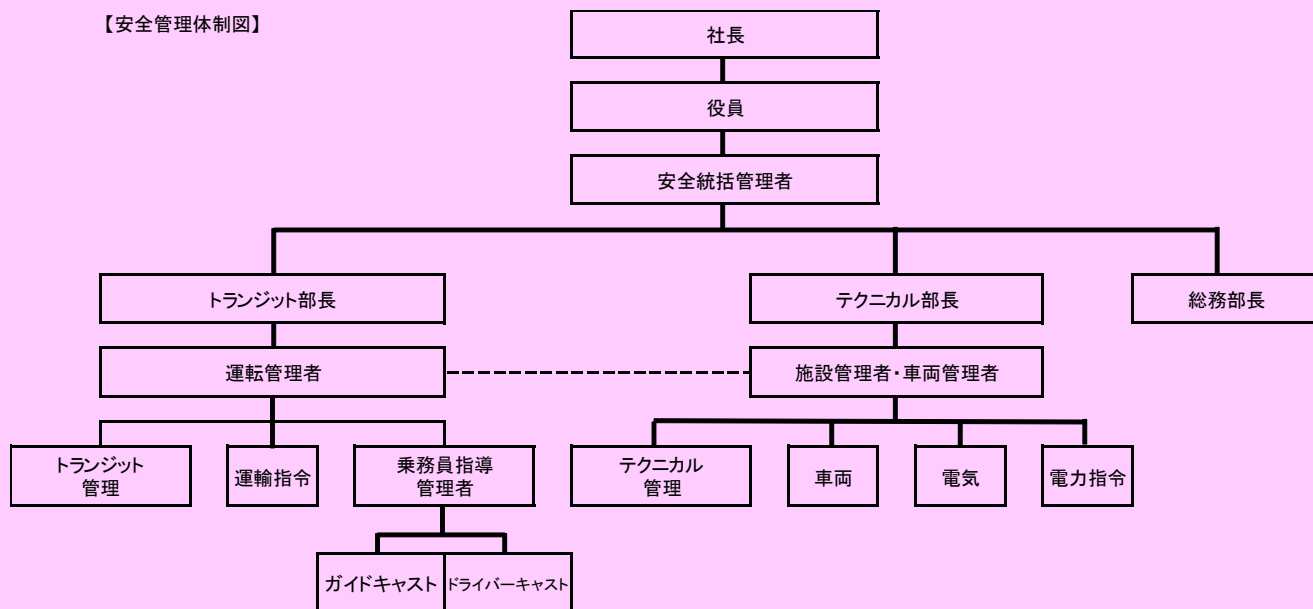
- ① 毎月開催される輸送安全対策会、各分科会でのヒヤリハットなどの事例研究や作業手順の見直しをキャストの教育に生かし、事故防止や対応能力の向上に努めています。あわせて、他社で起きた事件事例等についても、当社での発生リスクを検証し、その結果を安全運行につなげています。
- ② 当社は、ドライバーレス運転を開業以来続けていますが、今後も安全・安定輸送を確保するために必要不可欠なATO（自動列車運転装置）やこれを支えるATC（自動列車制御装置）、TTC（運輸管理システム）等、保安装置の機能維持に努めていきます。

3. 「輸送の安全」を推進する社内の体制

3.1 安全管理体制

当社の「安全管理規程」では、輸送の安全確保のために社長をトップとする安全管理体制を構築し、各責任者の責務を明確にしています。

【安全管理体制図】



管理者	責務
社長	輸送の安全の確保に関する最終的な責任を負う。
安全統括管理者	輸送の安全の確保に関する業務を統括管理する。
運転管理者	安全統括管理者およびトランジット部長の指揮の下、列車の運行、乗務員の資質の保持その他運転に関する業務を管理する。
乗務員指導管理者	運転管理者の指揮の下、乗務員の資質の保持に関する事項を管理する。
施設管理者	安全統括管理者およびテクニカル部長の指揮の下、施設に関する事項を統括する。
車両管理者	安全統括管理者およびテクニカル部長の指揮の下、車両に関する事項を統括する。

3.2 安全管理の方法

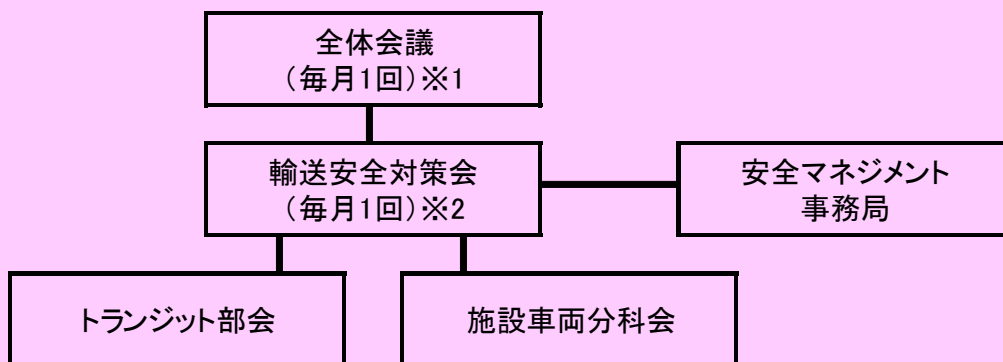
輸送の安全確保を達成するため、安全に対する検討および研究を継続し、さらに内部監査も実施することにより、PDCAサイクル（輸送の安全に関する方針などの策定、実行、チェック、改善のサイクル）を確実に機能させ、社長以下全キャストが一丸となった安全管理体制の確立に努めています。

① 輸送の安全に関する会議

年間計画に基づき、毎月1回開催される「輸送安全対策会」では、自社や他社で発生した事故・トラブル等の報告、再発防止策の検討状況報告、中期的な視野のもと輸送安全に関わる事案の研究を行っています。また、定期的実施する異常時総合訓練の実施案作成、実施後の検証も行っています。

この会議で話し合われた内容は、定期的に社長、役員へ報告されます。

【輸送の安全に関する会議】



※1 全常勤役員出席

※2 緊急性のある場合は都度開催

② ヒヤリ・ハット事例の収集

事故の未然防止および安全に対する当事者意識のさらなる向上を目的として、より迅速かつ確実にあらゆる職場から気がかり事例を収集する活動をスタートしました。収集した事例は今後も引き続き輸送の安全に関する会議において定期的に共有されます。

③ 経営トップによる職場巡視

社長をはじめとする役員や各管理者が、日常的に各職場を巡視し、キャストと直接意見交換することで、気がかり事象の把握や安全管理状況の確認を行っています。



④ 緊急時対応体制

事故や自然災害が発生した場合を想定した各種の異常時訓練を実施し、その実施結果を踏まえたマニュアルや関連規程など、定期的な見直しを行っています。

⑤ マネジメントレビュー

一年間の活動結果を経営層に報告し、輸送の安全管理体制が適切に整備・運営され、有効に機能していることを確認します。

3.3 安全管理体制の見直し（内部監査）

安全管理体制がPDCAサイクルにもとづき、適切に運営されているかをチェックするための内部監査（運輸安全マネジメントに係る内部監査）を年1回実施しています。

2012年度は、キャストおよび管理者に対してヒアリング調査を実施し、安全管理体制の評価や検証を行いました。今後もこの監査結果をもとにして継続的な業務の見直しを行うとともに、安全管理体制の維持向上を図っていきます。

3.4 運輸安全マネジメント評価

2012年10月に地方運輸安全調査官による第2回運輸安全マネジメント評価が行われ、以下の項目において評価を受けました。

- 経営トップの輸送の安全確保及び安全管理体制の改善に向けた主体的かつ積極的なリーダーシップの発揮
- 監査結果の指摘に対する被監査部門の是正及び監査実施方の改善に係る取組み

また、今後の活動の課題として

- ヒヤリ・ハット情報等を活用した継続的な事故未然防止への取組み
- 内部監査の実効性を向上させる観点から内部監査要員の更なる力量向上

以上2点があげられ、2013年度活動に反映し取り組んでいます。

4. 「輸送の安全」への取組み

4.1 異常時対応訓練

当社は開業以来ドライバーレス運転を行っておりますが、万一の場合に備えて、事故・トラブルや自然災害などさまざまな状況を想定した異常時訓練を定期的
に実施しています。

【2012年度訓練内容】

- 2012年6月にドライバーキャストを対象に列車併合を想定した訓練を
車庫線内で実施しました。
- 2012年6月～9月および12月～2013年3月にステーションキャスト
を対象にホームドア取扱に関する訓練を実施しました。
- 2012年6月、2013年1月～2月にステーションキャストを対象に防
火・防災訓練を各駅で実施しました。
また、訓練終了後には練習用消火器を使用し、初期消火訓練を実施しま
した。
- 2012年7月～9月にガイドキャストおよび運輸指令キャストを対象に
地震発生後の対応訓練を本線で実施しました。
- 2012年9月6日（木）営業運転終了後、全社合同で列車が駅間に停止
した後の対応訓練を本線で実施しました。
- 2013年2月28日（木）営業運転終了後、全社合同で閉そく方式の変更
および列車の併結訓練を
本線で実施しました。



この他、運行トラブル時におけるスムーズな運転正常化を図るための運輸指令
キャストによる連動盤の手動操作訓練、テクニカルキャストの高所作業車・は
しご車の設営および操縦訓練など、年間計画にもとづいた定期的な訓練を行っ
ています。

今後も実施評価を踏まえ計画的に実施していきます。

4.2 安全のための投資

当社では、ゲストの皆さまに安全にご利用頂けるように車両と駅が一体となったATCやホームドア（可動式安全柵）などの保安設備を備えています。2012年度はホームと車両の隙間におけるヒヤリ・ハット抑制を目的として2013年3月までに全乗車口にスロープを設置しました。



4.3 安全運行を支えるシステム

当社ではATOによるドライバーレス運転を行っています。これを支えるため、信号システムには保安度の高いATCを導入するとともに、各駅のホームには、列車との接触や転落防止のためのホームドアを設置しています。

なお、当社のドライバーレス運転は、一般の無人運転とは異なり、列車の最後部にガイドキャストが乗務しています。ガイドキャストは、ゲストの皆さまのご案内やドアの開閉、車内のモニター、さらには異常時におけるゲストの避難誘導等に柔軟に対応出来るように訓練されています。

このほか、列車の運行を総合的に管理するTTCの設置や、機器の状態が把握できる車両モニター装置の搭載等により安全確保に努めています。

① ATC（自動列車制御装置—Automatic Train Control）

前を走る列車との間隔やカーブなどの線路状態にもとづいた情報を、速度信号として地上側の装置から列車に設けた装置に送り、実際の速度と制限速度とを比較したうえで、超えている場合には自動的にブレーキを作動させ、制限速度以下まで減速させるか停止させるシステムです。

② ATO（自動列車運転装置—Automatic Train Operation）

ATCのバックアップのもと、列車の出発、走行、減速、定位置停止の列車操縦制御や、ホームドアとの連動制御などを自動的に行うシステムです。

5. 鉄道運転事故の発生状況

2012年度の事故の発生状況は以下のとおりとなります。

①鉄道運転事故

鉄道運転事故はありませんでした。
引き続き、安全運行に努めていきます。

※鉄道運転事故とは、国土交通省の鉄道事故等報告規則（省令）にもとづく、列車衝突事故、列車脱線事故、列車火災事故、踏切障害事故、道路障害事故、鉄道人身障害事故、鉄道物損事故をいいます。

②輸送障害

変電所内設備の点検のため輸送障害が1件発生（運休時間1時間27分）
しました。

ご利用の皆さまにはご迷惑をおかけし申し訳ございませんでした。

※輸送障害とは、省令にもとづく、国土交通省への報告対象となった列車の運休または30分以上の遅れをいいます。

③インシデント（事故の兆候）

インシデントはありませんでした。

※インシデントとは、省令にもとづく、事故には至ってないが運転事故が発生するおそれがあると認められる事態のことをいいます。

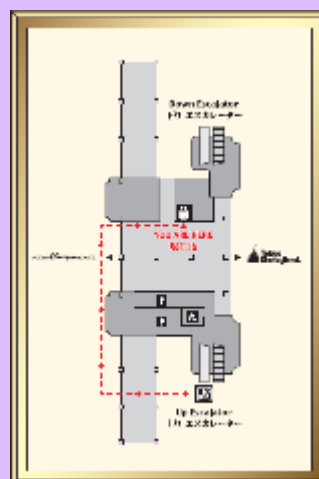
今後も、ゲストの皆さまに安心してご利用いただけるよう、全キャストが一丸となって安全運行に努めていきます。

6. ゲストの皆さまへ

6.1 皆さまの声をかたちに

ゲストの皆さまに安心してご利用いただくために、皆さまからお寄せいただいたご意見をさまざまな対策に反映させています。

- ① 駅のエレベーター乗り場には、車いすをご利用のゲストをはじめ、エレベーターを必要とされるゲストの方への優先利用にご協力いただけるよう、案内表示の設置を行っています。



- ② 車いすやベビーカーをご利用の方にもよりスムーズにモノレール車内へご乗車いただけるよう、固定式スロープを全乗車口に設置しました。
なお、高齢のお客さまや体の不自由なお客さまのご案内に必要な知識、技能を習得するため、サービス介助士2級の資格取得を積極的に進めています。



- ③ 全4駅にAED（自動体外式除細動器）を導入しています。
また、これにあわせて、AEDを取り扱うキャストが迅速に救命救急活動を行えるよう、浦安市消防署のご協力のもと普通救命講習を受講しています。



6.2 ディズニーリゾートラインから皆さまにお願い

- ① ディズニーリゾートラインは3分～13分間隔で運転を行っております。発車ベルが鳴ってからのかけ込み乗車は思わぬケガのもととなります。次の列車をお待ちください。
- ② ホームドアに寄りかかったり、顔や手をホームドアの外に出さないでください。
- ③ ホームと列車との間には、すき間があります。乗り降りの際は十分ご注意ください。特に小さなお子さまをお連れの方は、手をつないで乗降をお願いします。
- ④ 緊急時、ただちに列車を止めなければならないときは、各駅のホームドア中央付近に設置してある「非常用ボタン」を押してください。
- ⑤ 運転中やむを得ず急ブレーキのかかる場合があります。皆さまの安全のため、ご乗車の際は座席にお座りになるか、お立ちの場合はお近くのつり革や手すりにおつかまりください。



- ⑥ ドアに手をついていると、ドアが開いた際に戸袋に手が引き込まれてしまうおそれがあります。ドア付近にお立ちの際はご注意ください。特に小さなお子様をお連れの方は十分ご注意ください。
- ⑦ 各車両には、非常時の際にガイドキャストと通話のできる「非常通報装置」が設置されています。万一車内において急病人の発生や、その他不安全な行為等を認めたときは、何なりとお知らせください。



- ⑧ ディズニーリゾートラインへの危険物等の持ち込みは固くお断り致します。
- ⑨ 盲導犬、聴導犬、介助犬以外のペットをお連れの方は必ずペットケージをご用意ください。

6.3 お問い合わせ

セーフティーレポートへのご意見やご感想、安全の取組みに関するご意見をお寄せ下さい。

株式会社舞浜リゾートライン
トランジット部トランジットグループ
TEL : 047-305-2409 (平日9:00~17:00)